

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第26巻第4号

発行日●2019年2月25日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第 58 回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

コーディネーターの久保田進彦先生（青山学院大学）、寺本高先生（横浜国立大学）、赤松直樹先生（明治学院大学）を中心として、「いま私たちは、どのように消費者を捉えたら良いのか？」をテーマにプログラムを検討中です。

開催日程：2019年5月11日（土）・12日（日）

開催場所：上智大学四谷キャンパス（東京都千代田区）

第 57 回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

<統一論題>アントレプレナーシップと消費者行動研究

去る2018年10月27日、28日、京都市上京区の同志社大学において、第57回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。1日目の午前には、JACS論文プロポーザル賞のプレゼンテーションが実施され、数多くの参加者のもと活発な議論がなされました。1日目の午後と2日目の午前には自由論題研究報告が、2日目の午後には統一論題による発表とパネルディスカッションが行われました。

2日目午後の統一論題は「アントレプレナーシップと消費者行動研究」をテーマとし、神戸大学の栗木契先生による解題が行われたのち、大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所主席研究員の鈴木隆様、株式会社SEEDATA代表取締役の宮井弘之様にご講演を頂きました。

鈴木様からは「リフォーム仲介サイト『ホームプロ』起業の舞台裏」、宮井様からは「起業家が活用する市場調査と消費者調査の特徴」とのタイトルで講演を頂きました。後半は、首都大学東京の水越康介先生が加わり、栗木先生の司会によるパネルディスカッションが行われました。アントレプレナーは、マーケティング・リサーチを必要としない。このような指摘が各界でなされてきたことを受けて、消費者行動研究の可能性をめぐる討議が行われました。起業が画期的なものであるほど、リサーチによる未来の予測は困難となること、しかしそこにあっても、顧客のニーズや行動を事前に把握することは異なる局面で、マーケティング・リサーチや消費者行動研究がアントレプレナーに貢献できることの指摘が交わされました。

学会賞受賞者のお知らせ！

第57回消費者行動研究コンファレンスにおいて、学会賞各賞の受賞者が発表されました。日本消費者行動研究学会優秀賞および日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）の対象論文のうち、受賞者は、次のように決定されました。

日本消費者行動研究学会優秀賞：該当なし

日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）：下記2本

「重さは評価を高めるのか？ 接触欲求と視覚的表現による調整効果の検討」

石井裕明（成蹊大学）、外川拓（千葉商科大学）

※本論文は3名による共著ですが、学会賞に関する規定（年齢制限）により、第2著者が奨励賞の受賞対象から外れ、2名での受賞となります。

「購買に伴う待ち時間が消費者行動に与える影響 購買段階を考慮した待ち時間研究の体系化に向けて」

磯田友里子（早稲田大学大学院）

本ニューズレターでは、各賞の受賞者を順に紹介いたします。今号では、研究奨励賞（青木幸弘賞）を受賞された石井先生、外川先生にご登場頂きました。

第18回 JACS 論文プロポーザル賞

例年どおり、プレゼンテーションにもとづく審査により決定されました。受賞されたのは次の方々です。

最優秀賞：該当なし

優秀賞：「非線形測定モデルに基づく構成概念妥当性の検証方法に関する研究」

佐藤平国（東北大学大学院）

当論文プロポーザル賞は、学会での報告により、自分の研究を客観的な視点から捉え直すことのできる貴重な機会として位置づけられています。また、当プロポーザルをもとに進められた研究は、完了次第『消費者行動研究』への投稿が求められています。

※「JACS 論文プロポーザル賞」は、2019年度より「JACS—樫尾俊雄 論文プロポーザル賞」に名称を変更することが会員総会で承認されました。

JACS の新体制がスタートします！

2018年10月27日に開催されました会員総会において学会役員が改選され、2019年4月より、秋山学先生のもとで新体制（2019～2020年度）がスタートします。

会長：秋山学（神戸学院大学）

副会長：新倉貴士（前会長・法政大学）、

久保田進彦（次期会長・青山学院大学）

— 日本消費者行動研究学会 研究奨励賞（青木幸弘賞） —

重さは評価を高めるのか？接触欲求と視覚的表現による調整効果の検討

石井裕明（成蹊大学）

外川拓（千葉商科大学）

このたびは、素晴らしい賞を賜りまして、誠にありがとうございます。非常に嬉しく、また、大変光栄に感じております。学会賞審査委員の先生方におかれましては、お忙しい中、ご審査いただきまして誠にありがとうございました。

大学院生の頃から数多くの研究発表をさせていただいた日本消費者行動研究学会は、私達の研究者生活を考える上でなくてはならない重要な存在です。そのような学会の研究奨励賞は、目標であり、憧れでもありました。

今回の受賞論文である「重さは評価を高めるのか？ 接触欲求と視覚的表現による調整効果の検討」では、接触欲求という触覚に対する選好に注目し、それが高い消費者において、重い対象の評価が高まることを示しております。こうした現象が生まれる背景には、「重要」という概念と「重さ」の身体的経験の結びつきが想定されています。昨年秋の大会の懇親会で新倉会長からいただいた賞状が予想以上に重く感じられたのも、私達にとっての本賞の重要性や重みを表しているのだと思います。

私達はここ数年、センサリー・マーケティングに関連した研究を進めてきました。消費者行動研究におけるセンサリー・マーケティングに関連する議論は、2000年代中盤ごろから活発に進められてきており、私達が大学院で本格的に研究を始めた時期と重なります。既に10年余りが経過いたしました。最初にセンサリー・マーケティングに関連する研究に触れたときの、エキサイティングな感覚は今でも鮮明に覚えています。今後は、自分たちが読者にエキサイティングな感覚を与えられるような研究を進めていきたいと決意を新たにしております。

本論文の掲載にあたりましては、非常に多くの方々のご支援を賜りました。

エリアエディターの先生と2名のレビューワーの先生方には、数々の貴重なコメントをいただきました。先生方的確で丁寧なご助言があったからこそその受賞だと感じております。深く感謝申し上げます。

受賞論文では4つの実験を行っておりますが、実験の実施に当たっては、千葉商科大学の皆様から多大なるご支援をいただきました。石井が千葉商科大学を離れる際、「石井さんがしっかり研究を進めることが本学への恩返しだよ」という激励をくださった先生がいらっしゃいました。今回の受賞をもって、今は亡きその先生のお言葉に少しでも報いることができたいと思います。

また、私達の共通の恩師である恩蔵直人先生がいらっしゃらなければ、センサリー・マーケティングに興味を持つことも、このような研究を進めることもありませんでした。恩蔵研究室で進められていたセンサリー・マーケティングに関する先駆的な研究が、大学院生であった私達にどれほど魅力的に見えていたかは計り知れません。改めまして、恩蔵先生と研究室のメンバーに御礼申し上げます。

そして何より、学会の規定上、受賞者にお名前は入っておりませんが、本研究は共著者である朴幸佑先生抜きには成し得ませんでした。そもそも本研究のきっかけも、朴先生が触覚の研究を始められた丁度そのタイミングに石井が千葉商科大学に着任したことにあります。定例の研究会だけでなく、そのあとの懇親会でも発揮される幅広い見識に基づいたユニークな朴先生の発想は、いつも私達の好奇心を刺激していただきます。この場をお借りして心よりの感謝を申し上げます。

事務局メールアドレスの変更について

本会事務局委託先の学会支援機構におけるネットワークセキュリティ強化に伴いまして、2017年11月より学会事務局メールアドレスを以下の通り変更いたしました。

(旧) jac@asas.or.jp

(新) jac@asas-mail.jp

アドレス帳等の登録がありましたらお手数ですがご変更をお願いいたします。

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局までe-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ずJACS事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記JACS事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員2名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 10,000円

(但し、大学院生は5,000円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1口 5,000円

法人会員 1口 50,000円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 同志社大学 商学部 高橋広行研究室
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
Email: jac.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jac@asas-mail.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>